



[公財] 日本太鼓財団

NIPPON TAIKO FOUNDATION

会報

発行・編集 2018年 4月

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5階

公益財団法人日本太鼓財団 理事長 塩見 和子

Tel.03-6229-5577 Fax.03-6229-5580

URL:http://www.nippon-taiko.or.jp Email:info@nippon-taiko.or.jp

「三代目源流少年隊」(大分)が536団体の頂点に立ち初の栄冠に輝く!!

第20回日本太鼓ジュニアコンクール



(選手宣誓:「和太鼓 風」川崎大さん)

3月25日(日)、日本太鼓財団主催、(公社)石川県太鼓連盟、日本太鼓財団石川県支部、北陸三県太鼓協会主管により、第20回日本太鼓ジュニアコンクールを石川県金沢市の金沢歌劇座において満員となる2,200名のお客様を前に盛大に開催いたしました。

内閣総理大臣賞、総務大臣賞、文部科学大臣賞を目指して全国40都道府県(予選実施36支部536団体5,704名、支部推薦7団体)及び3地区から選抜された58団体646名(最年少8歳)に加え、ブラジルチーム12名(予選12団体125名参加)、台湾チーム7名(予選22団体245名参加)の総勢665名(全参加者平均年齢15歳)が出場しました。さらに前年度優勝団体「和太鼓たぎり」(福岡・15名)、アルゼンチンから「ブエノスアイレス太鼓」(9名)が特別出演として参加いたしました。

開会式は、優勝旗を手にした前年度の優勝団体「和太鼓たぎり」、アルゼンチンの「ブエノスアイレス太鼓」、ブラジルの優勝団体「サンミゲル・アルカンジョコロニア・ピニャール飛翔太鼓」、台湾の優勝団体「安徳笙太鼓團」(あんでるせんたいこだん)が中央に並び、全団体が整列して行われました。

国歌斉唱に続き、日本太鼓財団塩見和子理事長、石川県谷本正憲知事、金沢市細田大造副市長、日本太鼓財団石川県支部田中秀夫支部長が挨拶。そして、「和太鼓たぎり」より優勝旗並びに優勝杯が返還され、優勝杯レプリカと長胴太鼓が贈呈されました。

続いて抽選で出場順1番目となった千葉県代表「和太鼓風」の川崎大(ゆたか)さんが、選手宣誓を行い、次いで長谷川義副会長による初っ切り太鼓が演奏され、いよいよコンクールが幕を開けました。

出場60団体は、大会要領に基づき長谷川副会長作曲による課題曲「啓開」と自由曲を5分以内で演奏しました。各団体の演奏が終わる度に、満員のお客様より心からの拍手と声援が送られました。

60団体の演奏の後、アルゼンチンの「ブエノスアイレス太鼓」、前回優勝した「和太鼓たぎり」が特別演奏を披露し、全ての演奏が終了しました。閉会式では、審査委員の渡辺貞夫氏、喜多郎氏からの講評と塩見審査委員長より総評があった後、結果が発表され、「三代目源流少年隊」(大分)が栄えある内閣総理大臣賞に輝きました。

優勝団体が発表された瞬間、会場の張り詰めた空気が一転し、割れんばかりの拍手が沸き起こりました。

「三代目源流少年隊」は、10歳から17歳までの9人で構成された団体で、代表である城内氏の下、練習を積み重ね、初の優勝に輝きました。また、「橘太鼓『響座』ジュニア」(宮崎)が第2位となり総務大臣賞を受賞。第3位には「太鼓研修センター『響』」(宮崎)が文部科学大臣賞を受賞しました。「サンミゲル・アルカンジョコロニア・ピニャール飛翔太鼓」(ブラジル)は第4位に入賞しました。

出場全団体がこれまでの練習の成果を余すところなく発揮し、共に競い合った一日でした。今回の大会を通じて多くのことを学び、今後の活動に活かしていくことを期待しております。

また今回もインターネットによる全世界生中継を行い、開始直後よりブラジル、アルゼンチンをはじめ海外からも感想などの書き込みが寄せられました。

最後に、審査委員、技術委員の先生方、ご父兄並びにご来場の皆様、そして参加者のために行き届いた心配りをして下さった(公社)石川県太鼓連盟、石川県支部、北陸三県太鼓協会及び、北は北海道から南は九州まで全国から駆けつけて下さった延べ240名ものボランティアスタッフに心より感謝とお礼を申し上げます。



(優勝した三代目源流少年隊)

受賞一覧

優勝・内閣総理大臣賞
 準優勝・総務大臣賞、石川県知事賞
 第3位・文部科学大臣賞、金沢市長賞
 第4位・金沢市教育委員会賞
 第5位 北國新聞社賞
 特別賞 公益社団法人石川県太鼓連盟賞
 テレビ金沢賞
 北陸放送(株)賞
 協同組合石川県観光物産館賞
 金沢ケーブルテレビネット賞
 北陸三県太鼓協会賞
 日本太鼓財団石川県支部賞
 株式会社浅野太鼓楽器店賞
 株式会社宮本卯之介商店賞
 諏訪響太鼓店賞
 ブラジル太鼓協会賞
 台湾太鼓協会賞
 アルゼンチン太鼓協会賞
 国際友好賞(太鼓贈呈)
 国際友好賞(太鼓贈呈)
 国際友好賞(太鼓贈呈)

三代目源流少年隊(大分)
 橘太鼓「響座」ジュニア(宮崎)
 太鼓研修センター「響」(宮崎)
 サンミゲル・アルカンジョ コロニア・ピニャール飛翔太鼓(ブラジル)
 手取亢龍若鮎組(石川)
 やまばと太鼓(秋田)
 信濃国松川響岳太鼓子供会(長野)
 日南太鼓衆「爽空」(宮崎)
 熊本市立必由館高等学校 和太鼓部(熊本)
 火の神乙女太鼓 爽(鹿児島)
 おおむら太鼓連くじら太鼓(長崎)
 神洲八幡巫太鼓(福岡)
 尾張新次郎太鼓保存会(愛知)
 松川一の宮太鼓 はな組(岩手)
 諫早天満太鼓(長崎)
 越中いさみ太鼓保存会春蘭(富山)
 和太鼓 凧(千葉)
 輪島・和太鼓虎之介(石川)
 サンミゲル・アルカンジョ コロニア・ピニャール飛翔太鼓(ブラジル)
 安德笙太鼓團(台湾)
 ブエノスアイレス太鼓(アルゼンチン)

*優勝した「三代目源流少年隊」(大分)から感想文をいただきましたので掲載いたします。

「三代目」…として

代表 城内 三美

大分県由布市の無形文化財として登録されている「ゆふいん源流太鼓」の響きを後世につないでいきたいという思いから、平成27年に組織を立ち上げ、「三代目源流少年隊」が誕生いたしました。初代、二代の「ゆふいん源流少年隊」から10年の時を経て、まさに復活を遂げたといえます。これも偏に「ゆふいん源流太鼓」の長谷川義代表をはじめ、皆様の熱心な指導の賜と、心より感謝いたしております。

第20回大会には、各県の予選を勝ち上がってきた強豪チームばかりが顔をそろえ、どのチームも素晴らしく、見応えのある演奏を披露していました。その中で、結成3年目にして栄えある優勝をいただくことができ、本当にうれしい限りです。

子供たちが満足のいく演奏をして負けるのであれば仕方ないと、引率者として心配しながら送り出しましたが、演奏を終えた子供たちに感想を聞くと、「いつも通りに打てた!」と楽しそうにしていたことに、ホッといたしました。

「三代目源流少年隊」は、たくさんの人たちの支えがあったからこそ、ここまで来ることができました。子供たちは、これからも感謝することを忘れず、素直な心で太鼓を見つめ、さらに進化していくことを期待しています。そして「優勝」という重みに耐えながら、まだ見ぬ世界の数々を体験していくことが、子供たちの「心の成長」の糧になることを祈っています。

最後になりましたが、今大会関係者の皆様並びに子供たちを支援していただいた皆様に厚くお礼を申し上げます。ありがとうございました。



(優勝時の演奏)

審査委員

塩見 和子(財団理事長)*審査委員長
 渡辺 貞夫(演奏家)
 喜多 郎(演奏家)
 岡田 知之(公益社団法人日本吹奏楽指導者協会会長)
 鈴木 恭介(邦楽家)
 山田 正俊((一社)日本マチングバンド協会公認指導員)
 長谷川 義(財団副会長)
 古屋 邦夫(財団技術委員会委員長) (敬称略)

第20回日本太鼓ジュニアコンクールで優勝して

リーダー 高森 唯(17歳)

本田 真子(16歳)

私は11年間太鼓をしています。今まで全国大会に出場したことはありましたが、なかなか納得のいく結果がでませんでした。何度も悔しい思いをして、泣いたり悩んだりして、今回の優勝を掴み取ることができました。これまでの11年間はとても苦しく、厳しいものでした。特にこの1年間は私にとって1番苦しかったです。リーダーとしての責任、源流という名前を背負っているプレッシャー、今年が最後かもしれないという思い、たくさんの方に何度も押しつぶされそうになり、辞めたくもなりました。それでも負けず、頑張ってきたことが結果に繋がって本当に良かったです。人一倍頑張り、努力した人には必ず結果がついてくることを改めて感じることができました。

しかし、私たちが優勝できたのは自分たちの力だけではありません。毎日ご指導して下さった先生方、応援して下さった方々や、陰で支えてくれた両親など、たくさんの方々のおかげで今の私たちがいるので、本当に感謝しています。

そして何より、私たちが頑張ろうと思えたのは、戦う相手がいたからです。他のチームが同じように頑張っているのを知っているからこそ負けたくないという思いで厳しい練習も頑張ることができました。太鼓をしている仲間にも感謝しています。優勝したことで私たちはたくさんの人に支えられていることを改めて実感しました。

これからはたくさんの方の公演に参加していくと思います。日本一として恥じることの無い演奏ができるように、日々レベルアップしていきたいです。これからも一生懸命に物事に打ち込むことと、感謝の気持ちを忘れず頑張っていきたいと思います。

優勝して、正直まだ実感が湧いていません。結果発表でチーム名を呼ばれた時は、「ああ、優勝できたんだ」という感じでした。

私は4月から高校2年生になりますが、今回のコンクールで太鼓は最後になるかもしれないという予感がしていたので、一番満足のいく演奏をしようと気合を入れていました。コンクールのステージで自由曲をあと少しで打ち終わるという所で、これまでの太鼓で作ってきた思い出などが浮かんで泣きそうになりました。打ちながら泣きそうになったのは初めてだったので、自分でもとても驚きました。それほど思いをかけていたコンクールだったんだと気付きました。優勝して、まだ太鼓を続けることができてとても嬉しいです。

このような経験をすることができたのは多くの人の支えがあったからだと思います。太鼓の練習へ行く時はいつも三代目源流少年隊の保護者の方に送り迎えをしていただきました。高校の友達や先輩、先生には迷惑をかけてしまったことありますが、たくさんの方の応援をもらいました。私が太鼓をするうえで協力して下さった方たちはなくてはならない存在でした。

最後に、メンバーが一人でもいなかったら優勝はできていませんでした。厳しいことがあっても続けてくれて良かったです。これらの支えがあって太鼓ができていることをこれまで以上に実感しました。そのことを絶対に忘れることなく、三代目源流少年隊であることを誇りに思いながら、今後も太鼓を打っていきたいです。

<審査講評>

ジュニアコンクール終了後にとりまとめ、各出場団体に送付いたしました審査講評の要点を以下に抜粋しますので、参考にしていただき、今後益々精進されることを期待しております。

<全体>

全体的に技術の向上が感じられ嬉しく思います。ただ、ここ数年指摘されている大音量での演奏、音楽に関係ないパフォーマンス、しっかりとした音を出せない笛を入れるなど改善の兆しが感じられなかったのは残念でした。

<課題曲>

課題曲はmfから始まりますが、とてもmfとは感じられない音量のチームが多かったのは残念でした。指示された音量を心がけるようにして下さい。

<自由曲>

4分の時間の中で色々な表現をしようとするチームが多く見られましたが、何を表現したいのか理解に苦しむような構成は逆効果になりますので、気をつけて下さい。伝統的な太鼓や地域性を活かした演奏が増えてきたのは喜ばしい傾向ですが、笛に頼るより太鼓で自然な流れになるように工夫して欲しいと思います。

第21回大会は、福島県郡山市で開催！

第21回日本太鼓ジュニアコンクールは、来年2019年3月24日(日)、福島県郡山市の「けんしん郡山文化センター」にて開催いたします。皆様のご来場お待ちしております。

海外太鼓交流～ブラジル・台湾・アルゼンチン招請～

ブラジルからは昨年7月に行われた「第14回ブラジル太鼓選手権大会」のジュニア部門(12団体125名参加)でブラジル大会史上初となる3度目の優勝を果たした「サンミゲル・アルカンジョ コロニア・ピニャール飛翔太鼓」が来日(男女12名、引率6名の総勢18名)、台湾からは昨年10月に行われた「第8回台湾太鼓ジュニアコンクール」(22団体245名参加)で初優勝を果たした「安德笙太鼓團」(あんでるせんたいこだん)が来日しました(男女7名、引率7名の総勢14名)。またアルゼンチンからは「ブエノスアイレス太鼓」が来日しました(男女9名、引率3名の総勢12名)。それぞれ、ブラジルからの来日は14回目、台湾は8回目、アルゼンチンは4回目です。

コンクールに先立ち3月22日(木)、ブラジル・アルゼンチンチームは金沢市役所と北國新聞社を表敬訪問、23日(金)には、台湾チームを含めた3チームで市内にある兼六園を見学し、満開の梅を楽しみました。その後、会場にて成功祈願祭に参加した際は、日本の伝統文化に触れつつも、みんな慣れない様子で緊張していました。24日(土)にはリハーサルの後、前回優勝団体である「和太鼓たぎり」も加わった交流会を行いました。子供達は英語や日本語を一生懸命話しながら交流を深め、またお互いの出し物に大きな拍手を送り終始笑いの絶えない楽しい会となりました。

大会では、ブラジルチームは「豊年祭」という曲を演奏し、地元のお祭りの様子を表現しました。台湾チームは「昴」を、アルゼンチンチームは「到頭」を特別演奏として披露、3団体がそれぞれ課題曲とともに、練習の成果を見事に発揮し、観客から大きな拍手を受けていました。

緊張で張り詰めた結果発表では、ブラジルチームが第4位に入賞し、海外における太鼓演奏の技術向上が感じられました。

メンバーたちは一様に「日本のジュニアチームのレベルの高い演奏や礼儀正しさ、またスムーズな舞台進行を実際に見て驚き、感動した」、「自分達も益々がんばっていききたい」と話していました。

大会後、台湾チームは26日(月)、奈良市内にて東大寺や奈良公園、春日大社などを見学し、翌日27日(火)には大阪市内を見学しました。日本の歴



(群馬県大泉町「大泉町文化むら」で関係者と太鼓体験)

史や文化に触れ、メンバーは大変満足そうにその日の夜、帰路につきました。

ブラジル・アルゼンチンチームは26日(月)、浅野太鼓楽器店にて特別講習会を受講。浅野太鼓楽器店の工房では、太鼓の製作過程を見学しました。その後群馬県に移動し、翌27日(火)は、午前中に大泉町にある「大泉町文化むら」にて演奏を披露、午後からは太田市にあるブラジル人学校に移動し演奏を披露しました。生徒や学校関係者を合わせて400人は大変盛り上がりました。28日(水)は埼玉県上里町にあるブラジル人学校を訪れ、100人の学校関係者を前に演奏を披露しました。午後からは埼玉県から静岡県御殿場市に移動し、翌朝、朝食会場から目の前に見える富士山を見ることができ、みんな大喜びでした。

29日(木)には、午前中にJICA横浜へ向かい、海外移住資料館を見学しました。午後からは日本財団を表敬訪問し、太鼓演奏を披露しました。日本財団笹川会長、太鼓財団塩見理事長から歓迎と励ましのお言葉をいただき、日本の印象や感想などの質問を受け、メンバーは緊張しながらも1つ1つ言葉を選びながら答えていました。

「太鼓演奏はもちろんのこと、あこがれの日本で素晴らしい体験をし、一生忘れない良い思い出となった。皆様に感謝したい。学んだことを次につなげて、これからもがんばって太鼓を続けていきたい」と元気に日本を後にしました。



(海外チームと和太鼓たぎりの交流会での様子)



(日本財団笹川会長、太鼓財団塩見理事長と記念撮影
撮影：日本財団)

第12回全九州・日本太鼓ジュニアコンクールを開催

2017年12月17日(日)全九州太鼓連合主催の「第12回全九州・日本太鼓ジュニアコンクール」が、九州7県より40団体が参加して宮崎県宮崎市「宮崎市民文化ホール」で開催されました。2012年度より、全九州太鼓連合と台湾太鼓協会の協議により双方のジュニア大会で優秀な成績を収めた団体が、互いのジュニアコンクールに出演することとなりましたが、今回は台湾の上位入賞団体で構成された「愛伯特太鼓團&葫蘆墩Smile太鼓團」が特別出演いたしました。レベルの高い争いを制し、「三代目源流少年隊」(大分)が優勝を果たしました。結果並びに審査委員は、次の通りです。

<結果>

優勝：三代目源流少年隊(大分)
準優勝：橘太鼓「響座」ジュニア(宮崎)
第3位：神洲八幡巫太鼓(福岡)
第4位：太鼓研修センター「響」(宮崎)
第5位：糸島二丈絆太鼓(福岡)
日本太鼓財団賞：火の神乙女太鼓 爽(鹿児島)

<参加団体> 40団体

福岡5、大分3、長崎5、佐賀5、熊本7、宮崎10、鹿児島5

特別出演：「愛伯特太鼓團&葫蘆墩Smile太鼓團」

規程により地区コンクールに関する基準を満たした団体の中から最上位の団体が全国大会出場権を得られますが、今回はおおむら太鼓連くじら太鼓「風」(長崎)の出場が認められました。

<審査委員> *敬称略

古屋 邦夫(財団技術委員会委員長)*審査委員長
江頭 啓輔(三菱ふそうトラック・バス(株)特別顧問)
久保田宏之(宮崎県吹奏楽連盟名誉顧問)
山部 泰嗣(太鼓奏者・倉敷天領太鼓)
修行兼一郎(全九州太鼓連合審査委員会委員長)



(愛伯特太鼓團&葫蘆墩Smile太鼓團・台湾)

<第61回日本太鼓全国講習会(宮崎)>

2月17・18日(土日)、全九州太鼓連合、宮崎県支部主管による全国講習会を宮崎県新富町の「新富町文化会館」にて実施いたしました。両日とも天候に恵まれ、全国14都道府県から142名が受講しました。開会式では財団塩見理事長、全九州太鼓連合長谷川名誉会長、日本太鼓財団宮崎県支部甲斐支部長から励ましと歓迎の挨拶があり、講習会が始まりました。受講生たちは寒さ厳しい中、一生懸命講習に励んでいました。

○基本講座講師	総合指導	古屋 邦夫	○専門講座	御諏訪太鼓講座	松枝 明美
3級基本講座		安江 信寿		秩父屋台囃子講座	高野 右吉
4級基本講座		若山 雷門		締太鼓講座	長谷川 義
5級基本講座		田中 俊己		専門講座講話	浅野 昭利

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

1級検定	7名受験	7名合格(2名認定)
2級検定	8名受験	8名合格(5名認定)
3級検定	15名受験	15名合格
4級検定	36名受験	36名合格
5級検定	32名受験	32名合格



(4級基本講座の様子)

三浦一浩氏を偲ぶ会

信州上田真田陣太鼓に所属し長野県太鼓連盟理事長も務められ、昨年9月4日にご逝去されました三浦一浩氏(満51歳)を偲ぶ会が2月25日(日)、長野県上田市の上田東急REIホテルにおいて執り行われ、当財団から大澤常務が出席しました。会には、長野県支部古屋支部長をはじめ全国から集まった多くの太鼓関係者が三浦氏との早すぎる別れを惜しんでいました。

訃報

日本太鼓の普及、発展のために永年ご尽力いただきました「やまと獅子太鼓」(奈良)の立石猛氏が3月28日にご逝去されました。(満74歳)立石氏は前奈良県支部長として財団の活動にご協力いただき、昨年の国民文化祭・なら2017の実施にもご尽力いただきました。ここに謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

「東京マラソン2018」に星槎高等学校和太鼓部 響が出演

2月25日(日)、「東京マラソン2018」が開催され、主催の(一財)東京マラソン財団からの要請を当財団が受け、軽度の発達障害者チーム「星槎高等学校和太鼓部響」(神奈川)に、日本橋にほど近い特設会場内で演奏を披露して頂きました。特設会場は障害者が走る10kmコースのゴール地点で、太鼓演奏による応援により会場をよりいっそう盛り上げ、多くの観客やランナーを元気づけることができました。



(星槎高等学校和太鼓部 響)

「パラ駅伝 in TOKYO 2018」に金谷大井川川越し太鼓チャレンジチームが出演

3月4日(日)、駒沢オリンピック公園陸上競技場において「パラ駅伝 in TOKYO 2018」が開催されました。この駅伝は障害者と健常者がチームでタスキをつなぐ駅伝です。14都県と海外からラオスチームの計18チーム162名が参加しました。主催の日本財団パラリンピックサポートセンターから要請を受け、知的障害者チーム「金谷大井川川越し太鼓チャレンジチーム」(静岡)を派遣いたしました。当日の入場者は過去最高の17,100人にのぼり、太鼓の勇壮な応援演奏に、観客と出場者は大きな拍手を送っていました。



(金谷大井川川越し太鼓チャレンジチーム)

成田太鼓祭に参加 ～全国太鼓情報発信基地に多くのお客様～

4月14・15日(土日)、千葉県成田市の成田山新勝寺参道において「成田太鼓祭」が開催され、18万人もの人が訪れました。15日は雨天のため一部屋内による演奏に限られましたが、千葉県支部、千葉県太鼓連盟、当財団の共催により設置した「全国太鼓情報発信基地」のブースには14日の一日で1,900人のお客様が訪れ、展示した事業紹介のパネルをご覧いただきました。浅野太鼓のご協力を得て設置した大太鼓をお客様に実際に叩いてもらうコーナーでは、多くの方々が太鼓に親しまれていました。



(全国太鼓情報発信基地の様子)

公認指導員誕生

日本太鼓財団創立20周年を記念して実施された公認指導員の特別推薦について、これまでの実績が認められた1級公認指導員2名と、推薦された72名の内、すでに講習会に参加し、指導力が認められた16名がそれぞれ公認指導員に認定されました。

1級公認指導員：王妙涓氏(台湾・台湾太鼓協会)、西川恵美子氏(愛知・尾張新次郎太鼓保存会)

3級公認指導員：安田優司氏(北海道・和太鼓鼓楽)、五十嵐和貴氏(北海道・和太鼓鼓楽)、高橋祐貴氏(群馬・上州あずま太鼓会)、小林香菜子氏(東京・武蔵国府太鼓国府睦會)、足立千春氏(愛知・海東流神楽太鼓)、中畑哲氏(福島・塙祭り囃子保存会)、田中泰秀氏(埼玉・和太鼓会和光太鼓)、宮岸良英氏(埼玉・関東やまと太鼓)、関裕光氏(東京・関東やまと太鼓)、小林紀幸氏(東京・和太鼓邪無音)、南河真依氏(大阪・清光会和太鼓韻)、田中茂雄氏(福岡・糸島二丈絆太鼓)、恵藤良太氏(大分・ゆふいん源流太鼓)、池田靖洋氏(宮崎・和太鼓一家天響)、平田寿一氏(鹿児島・枕崎火の神乙女太鼓)、牧尾正臣氏(鹿児島・あくね毘沙門太鼓響流)

また、公認指導員の昇級条件となる講習内検定を経て技術委員会で検討した結果、2級公認指導員3名、3級公認指導員2名が認定、昇級されました。

2級公認指導員：細川智彦氏(栃木・野州轟一番太鼓)、湯澤元一氏(東京・和太鼓大元組)、田中俊亮氏(長崎・おおむら太鼓連くじら太鼓)

3級公認指導員：柏木博光氏(熊本・田原坂太鼓)、安部香織氏(大分・源流はさま太鼓)

認定、昇級された皆様おめでとうございます。2018年3月末日、1級公認指導員44名、2級36名、3級137名、合計217名となりました。今後の益々のご活躍を期待しております。

各種会議

第60回運営委員会・第61回技術委員会

1月12日(金) 東京にて開催

次の事項を審議、承認

<運営委員会・技術委員会>

1. 「2017年度事業の実施状況について」

- ①第20回日本太鼓ジュニアコンクールについて
課題曲、出場団体に関して審議し、決定すると共に、抽選により出場順番を決定した。
- ②第21回日本太鼓全国フェスティバル実施報告について
- ③第2回大学太鼓フェスティバル実施報告について
- ④第19回日本太鼓全国障害者大会の実施報告について
- ⑤第32回国民文化祭・なら2017太鼓の祭典の実施報告について
- ⑥第14回日本太鼓ニアコンクールの実施報告について

2. 「2018年度事業の実施について」

- ①2018年度事業の実施について

②日本太鼓助成金交付事業について

- ・2018年度助成金交付35事業のうち、申請のあった34事業について説明の後、承認された。残り1事業については会議後書面決裁を行い、日本太鼓ジュニアコンクール香川県大会を承認、全35事業が決定した。

3. 日本太鼓資格認定事業について

- ①公認指導員の特別推薦について
- ②公認指導員の認定について
- ③第7期公認指導員更新研修会について

4. その他

- ①中日本太鼓協会の設立について
審議の結果、設立は再審議となった。

理事会・評議員会

3月9日(金) 東京にて開催

次の事項を審議、承認

<理事会>

1. 2018年度事業計画及び収支予算について
2. 評議員会の開催について
3. 職務執行状況について

<評議員会>

1. 2018年度事業計画及び収支予算について
2. 職務執行状況について

2018年度日本太鼓助成金交付事業決定のお知らせ

運営委員会において、次の35事業が承認されました。報告書受理後、助成金20万円が交付されます。

支部講習会7事業(海外含む)

- | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 6月23・24日(土日) 第80回日本太鼓支部講習会(北海道室蘭市) | 11月10・11日(土日) 第83回日本太鼓支部講習会(兵庫県豊岡市) |
| 7月7・8日(土日) 台湾太鼓講習会(台湾桃園県) | 2019年 |
| 9月1・2日(土日) 第81回日本太鼓支部講習会(富山県立山町) | 1月26・27日(土日) 第84回日本太鼓支部講習会(福岡県久山町) |
| 9月29・30日(土日) 第82回日本太鼓支部講習会(北海道岩見沢市) | 2月2・3日(土日) 第85回日本太鼓支部講習会(東京都港区) |

教職員研修会7事業

- | | |
|--------------------------------|---------------------------------|
| 6月10日(日) 宮崎県教職員太鼓研修会(宮崎県川南町) | 8月26日(日) 群馬県教職員太鼓研修会(群馬県甘楽町) |
| 7月予定北海道道北教職員太鼓研修会(北海道中川町) | 8月予定栃木県教職員太鼓研修会(栃木県高根沢町) |
| 8月10日(金) 北海道道西教職員太鼓研修会(北海道砂川市) | 11月23日(金・祝) 長野県教職員太鼓研修会(長野県岡谷市) |
| 8月19日(日) 長崎県教職員太鼓研修会(長崎県波佐見町) | |

一般事業21事業(海外含む)

- | | |
|--|---|
| 5月27日(日) ポートピア河辺もりっと収穫祭(秋田県河辺町) | 11月11日(日) 星野村まつり和太鼓コンサート(福岡県八女市) |
| 7月15・16日(月・祝) 第26回雷童マースクール(石川県金沢市) | 11月11日(日) 第7回全九州ジュニア海外交流事業(台湾苗栗県) |
| 7月21・22日(土日) 全九州和太鼓マースクール(大分県由布市) | 11月11日(日) 台湾太鼓フェスティバル・ジュニアコンクール(台湾苗栗県) |
| 7月29日(日) ブラジル太鼓ジュニアコンクール&フェスティバル(ブラジル・サンパウロ州) | 11月18日(日) 第7回東北太鼓ジュニアコンクール(福島県白河市) |
| 7月29日(日) 第27回東北太鼓フェスティバル(山形県酒田市) | 11月予定第1回栃木県支部和太鼓技術講習会(栃木県矢板市) |
| 9月1日(土) 白鳥大橋開通20周年記念事業(北海道室蘭市) | 12月16日(日) 第7回全九州ジュニア海外交流事業(熊本県人吉市) |
| 9月8日(土) 日本太鼓ジュニアコンクール香川県大会(香川県高松市) | 12月16日(日) 第13回全九州・日本太鼓ジュニアコンクール(熊本県人吉市) |
| 9月16日(日) 岡山県日本太鼓フェスティバル(岡山県倉敷市) | 12月23日(日) 第2回全道・日本太鼓ジュニアコンクール(北海道岩見沢市) |
| 9月17日(月・祝) 佐賀県日本太鼓ニアコンクール(佐賀県佐賀市) | 2019年 |
| 10月7日(日) 岩手県太鼓連盟創立25周年記念事業(岩手県奥州市) | 2月24日(日) 第11回関八州太鼓祭り(東京都府中市) |
| 10月7日(日) 福井-和太鼓の祭典-(福井県越前市) | 3月16・17(土日) 東京都支部スプリングセミナー(東京都八王子市) |
| 11月10・11日(土日) サンフランシスコ太鼓道場コンサート(アメリカ・カリフォルニア州) | |

事務局だより

第62回日本太鼓全国講習会(群馬県藤岡市)

期日：2018年6月2・3日(土日)

会場：藤岡市みかぼみらい館 (〒375-0024群馬県藤岡市藤岡2728番地 TEL. 0274-22-5511)

主催：公益財団法人日本太鼓財団

総合指導 古屋 邦夫(技術委員会委員長)

基本講座

3級基本講座 鈴木 孝喜

4級基本講座 渡辺徳太郎

5級基本講座(初心者講座) 渡辺 洋一

専門講座

尾張新次郎太鼓講座(複式単打法) 安井 富(愛知)

大江助六太鼓講座(単式複打法) 小林 正道(東京)

大太鼓講座(単式単打法) 山内 強嗣(静岡)

専門講座講話 長谷川義(副会長)

更新研修会講師 浅野 昭利((一財)浅野太鼓文化研究所理事長)、長谷川義(副会長)、古屋邦夫(技術委員長)

申込先:(公財)日本太鼓財団

〒107-0052東京都港区赤坂1-2-2

TEL. 03-6229-5577 FAX. 03-6229-5580

お問合せ:日本太鼓財団群馬県支部

事務局長 横山博子 TEL. 090-2415-5981

締切:2018年5月18日(金) 当日到着分まで有効

第80回日本太鼓支部講習会(北海道室蘭市)

期日：2018年6月23日・24日(土日)

会場：だんパラサンパワー380 (〒050-0053北海道室蘭市神代町143番地3 TEL. 0143-44-6055)

主催：日本太鼓財団北海道道南支部

<お問合せ・申込先>

総合指導・5級基本講座(初心者講座)

日本太鼓財団北海道道南支部 事務局長 櫛引秀明

古屋 邦夫(技術委員会委員長)

〒050-0074北海道室蘭市中島町2-28-6 ホルサルト室蘭

*詳細は決まり次第当財団ホームページに掲載いたします。 TEL. 0143-43-2333 FAX. 0143-45-2910

日本太鼓支部講習会(富山)延期のお知らせ

5月12・13日(土日)に富山県で開催が予定されていた支部講習会は9月1・2日(土日)に延期となりました。

なお、詳細は決まり次第当財団ホームページに掲載いたします。

第7期公認指導員更新研修会

規定により3年毎に行われる公認指導員の第7期更新研修会は、以下のとおり2018年度の日本太鼓全国講習会と北海道の支部講習会であわせて実施します。対象は2018年3月末日、1級技術認定員に降格中の公認指導員を含む218名となります。

○第1回(第62回日本太鼓全国講習会) 6月2・3日(土日) 藤岡市みかぼ未来館(群馬県藤岡市)

○第2回(第63回日本太鼓全国講習会) 9月22・23日(土日) グリーンホテル三ヶ根(愛知県西尾市)

○第3回(第82回日本太鼓支部講習会) 9月29・30日(土日) 幌向総合コミュニティセンター
(北海道岩見沢市)

○第4回(第64回日本太鼓全国講習会) 2019年2月16・17日(土日) 不知火公民館(熊本県宇城市)

*なお、この研修会に参加しない場合は、公認指導員としての資格を喪失しますのでご注意ください。

*更新研修会の回答書をまだ返送されていない方は、お早めに事務局まで返送願います。(Fax. 03-6229-5580)

公益財団法人 日本太鼓財団

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 Tel. 03-6229-5577 Fax. 03-6229-5580

URL: <http://www.nippon-taiko.or.jp> Email: info@nippon-taiko.or.jp

